

事業プランや夢 熱く



成果を発表する福井さん＝浜松市中央区のFUSEで

起業目指す学生ら成果発表

浜松

創業支援や起業家精神に満ちた学生育成を目的とした活動の成果発表イベントが15日、浜松市中央区鍛冶町の創業支援拠点FUSE（フューズ）であった。市内外の大学生や大学院生、高校生計4人が登壇し、事業プランや自身の夢を語った。（村松秀規）

学生たちは、フューズが運営する起業家育成コミュニティ「ドゥア・トライブ・ハママツ」の一員。「行動者（Dore）」と「仲間（Tribe）」を掛け合わせた集まりを表現しており、経営者から起業や自己実現に向けた心構え、ビジネスの手法・戦略などが学べるプログラムが提供される。

登壇した一人で、静岡文化芸術大学大学院1年の福井健吾さん（27）は、伝統工芸品などのデザインをデータ化し、利活用できるようにするアイデアを披露。仲間との議論を経て考えに磨きがかかったと手応えを語り「企業の担当者や作家とのつながりができたことも成果」と胸を張った。

コミュニティのプロデューサーを務める上野直人さん（浜松いわた信用金庫）は「起業は手段の一つに過ぎず、『キャリアを考えたい』『自分を変えたい』『やりたいことがある』という学生に参加してもらい、全力でサポートしていく」と語る。現在60人近くが参加。随時、仲間を募っている。